

【記入例】

第21号様式（第19条関係）

屋外貯蔵タンク内部開放点検工事届出書

		① 令和 ●年 ●月 ●日		
(宛先) 新居浜市長		届出者 住所 新居浜市 ●●町 ●丁目 ●番 ●号		
		氏名 ●●(株) 代表取締役 ●● ●●		
		電話番号 ●● - ●●		
③ 場所	所在地	新居浜市 ●●町 ●丁目 ●番 ●号 (電話番号) ●● - ●●		
	名称	●●●● TK-●●		
④	設置の許可年月日 及び許可番号	平成 ●年 ●月 ●日 第 ●● 号		
⑤	設置の完成検査年月日 及び完成検査番号	平成 ●年 ▲月 ▲日 第 ●● 号		
⑥	完成検査後の 経過年数	●●年		
⑦	危険物の類・品名	第4類第3石油類 (重油)	⑧ 容 量	310,000ℓ
⑨ タンクの 構造	形 状	縦置円筒型	常 圧 ・ 加 圧 別	常 圧
	材質・板厚	SUS304 底板 ●●mm 側板 ●●mm 屋根板 ●●mm		
	寸 法	全長 ●● 胴長 ●● 内径 ●●		
⑩	タンク基礎の概要	コンクリート基礎		
⑪	期 間	自 令和 ●年 ●月 ●日	至 令和 ●年 ▲月 ▲日	
⑫	タンク本体・ 基礎工事者	株式会社 ●●鉄工所		
⑬	点 検 内 容	目視検査、板厚測定、溶接部試験、底部形状測定		
⑭	前回点検日 及び改修事項	平成 ●年 ●月 ●日 底板の当て板補修を実施		
※受付欄		※経過欄		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
 - 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 位置、構造及び設備の図面を添付すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。

屋外貯蔵タンク内部開放点検工事届出書記入要領

- ① 届出日（届出書提出日）を記入する。
- ② 届出者は、原則として危険物施設の設置者の住所、氏名を記入する。法人の場合は、名称、代表者氏名及び事務所の所在地を記入する。
- ③ 「場所」欄は、危険物施設が設置されている所在地及びその名称を記入する。
- ④ 「設置の許可年月日及び許可番号」欄は、危険物施設の設置許可の年月日・番号を記入する。
- ⑤ 「設置の完成年月日及び完成検査番号」欄は、危険物施設の設置完成の年月日・番号を記入する。
- ⑥ 「完成検査後の経過年数」欄は、設置の完成検査を受けた日から経過した年数を記入する。
- ⑦ 「危険物の類、品名」欄は、法別表に掲げる類、品名を記入する。中仕切りタンクで、項目が多い場合は、「別紙のとおり」として、別紙に記入し添付する。
- ⑧ 「容量」欄は、危規則第2条の計算方法で算定し、危政令第5条第2項のタンク容量を記入する。中仕切りタンクにあつては、その内訳を括弧に記入する。

《例》 10,000L(4,000L+6,000L)

- ⑨ 「タンクの構造」欄は次のとおり記入する。
 - ア 「形状」は、「縦置円筒型」、「横置円筒型」、「角型」等それぞれの形状を記入する。
 - イ 「常圧・加圧別」は、非圧力（常圧）タンクにあつては、「常圧」、圧力タンクにあつては、「加圧」又は「減圧」の別及び最大常用圧力を記入する。
 - ウ 「材質・板厚」は、JIS規格等による記号及びタンク板厚の寸法を記入する。
 - エ 「寸法」は、タンクの寸法を記入する。ただし、全長は外寸法を記入する。

《例》

縦置円筒型	全長、胴長、内径、鑑出し
横置円筒型	全長、胴長、内径、鑑出し
角型	縦、横、高さ

- ⑩ 「タンク基礎の概要」欄は、屋外タンクの基礎の構造について記入する。
- ⑪ 「期間」欄は、屋外タンクの開放点検を実施する期間を記入する。
- ⑫ 「タンク本体・基礎工事者」欄は、タンク内部の開放点検工事を行う事業者を記入する。
- ⑬ 「点検内容」欄は、目視検査、板厚測定、溶接部試験、底部形状測定、その他のうち、実施する点検内容について記入する。
- ⑭ 「前回点検日及び改修事項」欄は、前回の内部開放点検工事を実施した年月日及び改修した事項について記入する。項目が多い場合は、「別紙のとおり」として、別紙に記入し添付する。